

認定まちづくり適正建築士セミナー

認定まちづくり適正建築士とは

★オンライン開催

良質な建築、美しいまちづくりのための専門家

良質や美しいといった定性的な判断基準は、専門家をまじえた協議調整が必要です。これには建築の専門性のみならず、都市計画やまちづくりに関する知識、多様な意見をまとめるファシリテート能力などが求められます。また行政へのまちづくり条例策定の支援、アドバイスを行う専門家です。この資格は、一般社団法人 日本建築まちづくり適正支援機構が認定するものです。

認定まちづくり適正建築士となるメリット

建築やまちづくりの専門家としてのまちづくり支援、建物調査、まちづくり条例に沿ったコンサルタントや助成制度における専門家派遣、審議会等の協議調整に関わる可能性が広がります。

一般社団法人 日本建築まちづくり適正支援機構からのフォロー体制

自治体やまちづくり組織からの要請や建築トラブルにおける被害者支援に対して、要請内容に沿った会員の認定まちづくり適正建築士を紹介します。

認定まちづくり適正建築士になるために

【建築・まちづくりインテンシブ認定セミナー・プログラム】 定員：20名

＜受講条件＞

開催日：2025年3月29日(土)～3月30日(日)		
1日目 (3/29)	10:00～13:00 セミナー①	都市計画と住民参加のまちづくり —歴史と概要、その意味— 野澤康 (工学院大学教授)
	14:00～17:00 セミナー②	分権まちづくりにおける法律と条例の関係 —具体的まちづくり事例から考える— 松本昭 (ハウジングアンドコミュニティ財団)
2日目 (3/30)	10:00～13:00 セミナー③	まちづくりにおける建築士・建築家の役割 —多様な立場・事例紹介— 三井所清典 (建築家)
	14:00～17:00 セミナー④	ファシリテーターとしての建築士・建築家 —日本版CABE・事例紹介— 連健夫 (建築家)

一級建築士に加え、下記のいずれかの専門資格をお持ちの方。
・登録建築家・専攻建築士・技術士
・宅建士・司法書士・博士号・ADR 調停人・
ヘリテージマネージャー・JIA 文化財修復
復塾修了者・一級建築施工管理技士・
住環境福祉コーディネーター・再開発
プランナー・設備一級建築士・構造一
級建築士・既存住宅状況調査技術者・
登録まちづくりファシリテーター・
JCAABE コンクール受賞者・これ以外の
資格で当理事会の承認を受けた者

※当日連絡先：090-6318-2349 (JCAABE 事務局：大槻)

※各セミナーは、2時間のレクチャー、40分の質疑ディスカッション、20分の考査レポートで構成されます。

※各セミナーは、Zoom!によるオンライン受講です。1日目あるいは2日目、いずれか都合がつかない場合は録画受講が可能です。申込時にご連絡ください。

●認定セミナー：48,000円 (認定者は当機構入会費及び初年度の年会費を免除)

➔申込はJCAABEホームページからお願いします。https://jcaabe.org/page-2582/



一般社団法人 日本建築まちづくり適正支援機構とは

JCAABE日本建築まちづくり適正支援機構は、良質な建築、美しいまちづくりを推進すべく、広く市民、行政、それに関わる建築士、建築家の支援、まちづくり条例や協議調整などの仕組づくりの支援を行うことを目的にしています。このためにトラブル解決など安心安全に関わる ADR 調停人、協議調整に関わる認定まちづくり適正建築士の支援、今日的課題である木密不燃化耐震化・空き家空き地の活用を支援する第三者機関です。

《役員構成》

❖理事❖ 代表理事：連健夫・専務理事：大谷昭二・理事：最上義、松本昭、松村哲志
❖特別顧問❖ 神田順・野澤康・三井所清典・市古太郎 ❖監事❖ 日比野大

《会費》※全て税込み

❖正会員❖ 年会費：8,000円 (入会費：8,000円) ※3年毎に更新セミナーを行います ※認定まちづくり適正建築士セミナー受講者の入会費及び初年度会費は免除

＜入会条件＞認定まちづくり適正建築士セミナーの受験資格、ADR 調停人推薦者資格と同様。これ以外で当理事会の承認を受けた者。

❖賛助会員❖ 年会費：60,000円 (入会には審査があります) ❖専門会員❖ 建築士ではないが上記等専門資格を持つ者・年会費：8,000円

❖準会員❖ 登録まちづくりファシリテーターを取得した者・年会費：4,000円

《全国支部長》

北海道支部：菅沼秀樹・東北支部：松本純一郎
関東甲信越支部：連健夫・東海支部：鳥居久保
近畿支部：荒木公樹・中国支部：山田暁
四国支部：野村正人・九州支部：鯉坂徹